

7月9日(土)・10(日)に全居住者対象防災説明会を開催いたしました。



防災説明会にご参加された方々のご意見(一部)

- Q 当マンションは震度7まで耐えられるということですが、その根拠を詳しくお聞かせください。
A 1981年の改正建築基準法の耐震基準、震度7でも耐えうる構造になっており、5年前のコンクリート材質検査でもアルカリ性濃度の状態も良いとの判断からです。
- Q 防災委員会は地震以外の風水害についてはどのような対策をお考えなのでしょうか。
A 当マンションの立地と建築物の構造上からは風水害の対策は考えておりません。あくまで地震被害を想定しての活動を考えております。
- Q 上新田南地区の行政の対策はどうなっているのか。
A 例えば避難所の新田南小には現在毛布30枚しかありません。行政はあてにできず、自助・共助が大事になります。
- Q 各家庭で3日分の食料や飲料水などを配備してもらうため、注文案内を出して、まとめて購入すれば安くなり全戸配備も可能になるのではないのでしょうか。
A いいアイデアありがとうございます。委員会の方で検討させていただきたく思います。
- Q 全家庭用に配布する防災マニュアルは、イラストなどを使って、お年寄りや子供にもわかりやすいように作って欲しい。
A 災害対応マニュアルは、防災委員会用と各家庭用の2種類の作成を考えております。各家庭用ではイラスト等を使ってわかりやすいものになりたいと考えております。

多数のご参加、ご意見ありがとうございました。

6月2日(木)・3日(金)に「震災対策技術展」がグランフロント大阪で催されました。自然災害、特に地震に対する各企業の災害対策用の機器材やシステム、防災対策用品の紹介。又、大学などの研究機関の取り組み等の展示紹介や体験コーナーなどがあり、今日の災害対策の現状が大変よくわかる展示会でした。

○後援：内閣府、警察庁、消防庁、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、気象庁、防衛省、大阪府など
○出展企業：82社団体 ○大学研究室：7大学 ○行政機関：8行政機関 ○研究機関(法人・一般)：8団体、他

水害対策 土砂対策

非常食 防災グッズ

第3回 「震災対策技術展」大阪

救助・救出 安否確認

http://www.shinsaexpo.com/

自然災害対策技術展

会場入口

災害用テント・トイレの展示紹介

太陽電池浄水システムの紹介

ミドリ安全の防災関連用品ブース

非常食の試食

防災科学技術研究所ブース